

令和5年度 技術・家庭科【家庭分野】 1学年 指導・評価計画

学 期	題材名	教材名	評価の観点			評価規準	主な 評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
			知識 技能	思考 判断 表現	態度			
1	ガイダンス		○				授業観察	・中学校での学習内容に興味をもち、3学年間の見通しをもとうとしている。
	家族・家庭生活	○自分の成長と家族・家庭生活				・家庭と家族関係について 関心を持ち家庭生活の大 切さを知る ・家族の一員として自分 のできることを考える	授業観察 家庭ノート ワークシート 定期考查 自己評価表	・自分の成長と家族や家庭生活との関 わりについて理解している。 ・家庭にはさまざまな活動があるこ と、家庭の主な機能について理解して いる。 ・自分や家族の生活は、家庭の内外の 活動によって支えられていることを 理解している。 ・家族の互いの立場や役割について理 解している。 ・家族と協力することによって家族関 係をよりよくできることについて理 解している。 ・家族とのかかわりについて問題を見 いだして課題を設定している。 ・現在の自分は、家庭を支える仕事に ついて何ができるかを考えている。 ・自分の成長は家族をはじめ、多くの 人に支えられてきたことに気づき、自 分が支える立場になれるることを考え、 実践しようとしている。 ・家庭生活を支える活動とそれを支え る社会の仕事やしくみの学習を通し て、家庭生活と社会のつながりを考 え、自分のできることから実践しよう としている。 ・家族関係をよりよくするために、家 族や地域の人びとと協力する必要が あると気づき、協力の方法を工夫し 取り組もうとしている。 ・家族関係をよりよくするために、学 んだことをもとに課題を解決する力 を身につけている。
			○	○	○			
	衣食住の生活	○目的に応じた衣服の選択 ○日常着の手入れと保管				・衣服の働きに関心を持ち 目的に応じた着用につい て考える ・伝統文化としての和服に 関心を持つ ・衣服の手入れに関心を持 ち、洗濯や補修などに散り 組む ・布を用いた物の製作に取 り組み製作の計画を立て る ・適切な縫い方や始末の仕	授業観察 家庭ノート ワークシート 定期考查 提出物 自己評価表	・衣服の社会生活上のはたらきを理 解している。衣服と社会生活との関わ りがわかり、目的に応じた衣服の着用に ついて理解している。 ・目的や個性を生かす着用を考え、デ ザイン画に工夫し記入している。 衣服と社会生活（和服）について理 解している。 ・和服と洋服の構成の違いや特徴、着 方について理解している。 ・既製服について表示から情報を 収集・整理しまとめることができる。
			○	○	○			

					<p>方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンやアイロンの適切な取り組み方を知る 		<ul style="list-style-type: none"> ・既製服の表示の意味と選び方について理解している。 ・回収された資源が新しい衣服として生産されることを理解している。 衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の手入れができる。 ・衣服につく汚れやしみの種類と性質について理解している。 ・衣服素材に適した手入れの必要性を理解している。 取り扱い表示の意を理解して、適切な手入れ方法を選択できる。 ・適切な洗濯の方法と洗剤の使用方法について理解している。 洗濯機の安全で適切な使い方について理解している。 ・補修の目的に適した方法で衣服を補修することができる。
2	<input type="checkbox"/> 生活を豊かにするものの製作	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>授業観察 家庭ノート ワークシート 定期考查 提出物 作品 製作カード 自己評価表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いたものの製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識や技術を理解している。 ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ・完成までの見通しをもち、自分なりの工夫を加えた製作計画を立てることができる。 ・布や用具を正しく安全に扱い、自分で工夫しながら意欲的に製作を進めることができる。 ・製作に必要な材料や縫い方が理解でき、用具を安全に取り扱うことが適切にできる。 ・基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく適切に製作ができる。 ・製作に必要な材料や縫い方がやりきりでき、用具を安全に取り扱うことが適切にできる。 ・ミシンの使い方について理解し、適切に扱うことができる。 ・製作の手順や縫い方、必要な材料と用具の選択や安全で効果的な使い方について理解している。 	
3	衣食住の生活	<input type="checkbox"/> 住まいのはたらきとよさ <input type="checkbox"/> 安全な住まいで安心な暮らし	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割や生活行為と住空間のかかわり、日本各地の住まい方を考える ・危険な場所や事故防止の対策を考える 	<p>授業観察 家庭ノート ワークシート 定期考查 提出物 自己評価表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらきには、機能的なはたらきと精神的なはたらきがあることを理解している。 ・日本の伝統的な住まいは、地域の材料を使い、気候風土に合わせたり、自然のよさを取り入れたりして工夫

	○持続可能な 住生活をめざ して			・災害に備えた住まい方に ついて考える ・快適な室内環境に関心を 持ち、安全で快適に住むた めの工夫について、考える		されていることを理解している。 ・住まいに必要な空間について知り、 生活行為が分類できる。 ・さまざまな生活によって、住まい方 の工夫があることを知る。 ・家庭内の事故の種類とその原因を理 解し、安全を考えた住空間の整え方を 身につけている。 ・室内環境を整える方法や安全に住む ための対策について理解している。 ・住まいの地震対策から安全確保の方 法を挙げることができる。 ・災害時、身を守るために準備や行動 のしかたを具体的に説明できる。 ・持続可能な社会の実現に向けて、さ まざまな住まいと住まい方の工夫が あることを理解している。
--	------------------------	--	--	--	--	---